

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫教育文化研究所
代表者 森戸卓也
編集人 松浦明日香
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2026/3・1

No. 2135

兵庫教育文化研究所
第95回運営委員会
第110回研究所員会議

第48回 母と女性教職員の会 兵庫県集会

1月18日、「第48回母と女性教職員の会兵庫県集会」が神戸市教育会館・ラッセホールで開催され、県内各地域から保護者・退職教職員・兵政連議員等を含めた約100人が参加した。全体会では、北野聡子さん(ジェンダー平等教育部会協力研究員)による「学校・労働組合・市議会でとりくんできたジェンダー平等」と題した問題提起がおこなわれた。分科会では、「高校生平和大使活動報告」、「子どもの人権を考える」、「短時間組合員の就労状況の現状」の3つのグループにわかれ、平和や人権を守るために現状を見つめ、活発な討議をおこなった。母と女性教職員の会は、誰もがその命を大切にされる平和な社会、すべての人に居場所がある社会、子どもたちが安心して育っている平和な未来をつくっていく。

問題提起(要旨)



北野聡子さん

学校、労働組合、宝塚市議会という3つの現場で、私は一貫してジェンダー平等の実現にとりくんできた。

学校現場では、性別でわけることが当たり前になっていた慣習を見直し、「区別は差別」という視点を軸に、性別でわけない名簿づくりや、一人ひとりのプライバシーと尊厳を守る教育のあり方をすすめてきた。性教育についても、子どもの実態にむき合いながら、年齢に応じて必要な知識を得られる学びの重要性を訴えていた。

こうした考え方を確かなものにしたのは、労働組合での学びと連帯である。母と女性教職員の会などの場で、差別は意図の有無にかかわらず、理由なく人をわけ続ける構造そのものに現れることを学び、現場の実践へつなげてきた。また、育児休業制度などが職種によつて不平等であったことを重要課題と捉え改善を訴えた。

みもすすめている。これからは、だれもが尊重され、自分らしく生きられる社会を実現するため、現場の声と事実にもとづいて歩みを重ねていく。強くなった。

北野さんのお話にあつた、「区別は差別」という言葉がとて印象に残っている。それぞれの抱えている悩みを多面的に見ていくこと、自分の思い込みが偏っていないかをしっかり確認することが、大切だと感じた。

「自分の人生の節めにあわせて起こったことを話してくださったので、よくわかった。これまでも議会、だよりなどで活動の様子を読ませてもらっていたが、ご自身で語られる内容は濃くて、課題意識をもったことにはとんとりくむ姿勢に感動した。少しでも見習えればと思った。

ジェンダー平等のために精力的に活動されておられる、大変勉強になった。一人の人間らしく生きられるよう、子どもをこれから支えていかなければならないと強く感じた。また、まだまだ勉強不足のところもある。よい機会となった。

「修学旅行で行くから、総合の時間に組み込まれているから」やっていると、自分もいると気づいた。教員も「自分事」として考えないといけないと思った。

短時間勤務の現状を知ることができてよかった。みんなが助けあつて、何かを諦めないといけない現状がなくなることが願う。

教育現場以外の雇用状況、短時間勤務をされる方の抱えている課題、キャリアアップの課題など、普段意識していない女性を取り巻く課題を感じることができた。

女性の社会参加について他の企業の話も聞けてよかった。学校現場は恵まれている部分もあるが、担任を一人で任されるのが故に責任も大きく、周りの人に対して遠慮もしてしまい、しんどい思いをされている子育て中の教職員もいる。周りの職場の人たちの理解や、団体力を合わせるという組合の力も大事だと改めて思った。



市議会では、理念を掲げるだけでなく、制度と仕組みとを重視している。同性パートナーシップ制度の推進や、教育現場で活用できる理解促進の資料・授業モデルの整備を後押しし、継続的にとりくめる体制づくりをもとめてきた。議会で差別や偏見を助長する発言があつた際には撤回をもとめるなど、公共の場で差別を容認しない姿勢を明確にした。さらに、資格をもつ人が育児期でも力を発揮できる働き方の仕組みづくりなど、性別役割分業に固定されない社会をめざすとりく

「参加者感想より」ジェンダー平等について、いろいろな考え方があり、その中でみんなが気持ちよく生きられるようにと頑張ってくださいている方がいることに感謝しなければならぬと感じた。

「参加者感想より」ジェンダー平等について活動されたことや、LGBTQの方の話など、具体的な話が聞けて良かった。今は当たり前のこと(男女混合名簿など)も、以前は当たり前前ではなく、嫌な思いをした子どももいたと思うし、まだ解消

「参加者感想より」知らなかったことがたくさんあつて、大変勉強になった。まだまだ勉強しないといけないことばかりだと感じた。

「参加者感想より」短時間勤務の現状を知ることができてよかった。みんなが助けあつて、何かを諦めないといけない現状がなくなることが願う。

「参加者感想より」ジェンダー平等のために精力的に活動されておられる、大変勉強になった。一人の人間らしく生きられるよう、子どもをこれから支えていかなければならないと強く感じた。また、まだまだ勉強不足のところもある。よい機会となった。

「参加者感想より」修学旅行で行くから、総合の時間に組み込まれているから、自分もいると気づいた。教員も「自分事」として考えないといけないと思った。

短時間勤務の現状を知ることができてよかった。みんなが助けあつて、何かを諦めないといけない現状がなくなることが願う。

教育現場以外の雇用状況、短時間勤務をされる方の抱えている課題、キャリアアップの課題など、普段意識していない女性を取り巻く課題を感じることができた。



分科会

「参加者感想より」人権II思いやりの教育ではないという言葉が心に残った。当事者の声を聞くなどして、もっと私自身が知る努力をすることが大切だと思った。

「参加者感想より」朝鮮学校を取り巻く状況や、在日朝鮮人の方が思つておられること、日本の中での扱いの変遷などを多角的に捉える機会になった。

「参加者感想より」短時間勤務の現状を知ることができてよかった。みんなが助けあつて、何かを諦めないといけない現状がなくなることが願う。

「参加者感想より」ジェンダー平等のために精力的に活動されておられる、大変勉強になった。一人の人間らしく生きられるよう、子どもをこれから支えていかなければならないと強く感じた。また、まだまだ勉強不足のところもある。よい機会となった。

「参加者感想より」修学旅行で行くから、総合の時間に組み込まれているから、自分もいると気づいた。教員も「自分事」として考えないといけないと思った。

兵教組推せん

やまもと 山本やすのり(佐用町)



誰もが誇れる縮充の町「さよう」をめざして

私の決意

2025年、佐用町は「縮充のまちづくり宣言」をおこないました。「小さくても少なくても、こころゆたかであり、わせと思える町」を築いていくために、教育の「充」・福祉の「充」・暮らしの「充」を具体的に実効性をもちながら展開していく所存です。

こういち 三木浩一(たつの市)



5期めへの挑戦!

私の決意

32年間の教育現場での実績と、4期16年間の市議会議員としての経験を活かし、次世代を担う子どもたちのため最善の教育環境づくりをすすめます。「たつの市」の街づくりをすすめます。

兵教組は、4月26日(日)執行予定のたつの市議会議員選挙、佐用町議会議員選挙において、兵政連予定候補者である「三木浩一」さん、「山本やすのり」さんを推せん決定しています。

この間、兵庫の教育研究活動の充実に寄与するため、協力研究所員・研究所員の皆さんには多大なる力をお貸しいただいたことに、まずもって感謝申し上げます。

また、先日おこなわれた三重での全国教研でも、司会者・共同研究者・サポーターとして参加して下さった皆さんに感謝申し上げます。私も全国教研に参加した。広島教研以来、傍聴

福山運営委員



開会あいさつ

したが、改めて兵庫の教育研究活動のすばらしさを感じた。

私が参加した分科会での討論の中で、「当事者」ということが話題になった。そこで、兵庫からのリポーターも発言されたが、その内容は、県教研でも話題になり、参加者の皆さんと討議した内容だったそう。

分会教研、地域組合教研、県教研、全国教研と、それぞれの場面で議論し、練り上げていった上での発言に、改めて兵庫の教育研究活動の厚さや発信力を感じたところである。次は、全国で学んだこと・話題になったこと等を、県・地域組合・分会に還流、さらなる教研活動の充実につな

教育研究活動のさらなる充実にむけて

ていただきたい。



研究所員会議の様子



兵庫教育文化研究所 第95回運営委員会・第110回研究所員会議



感謝状贈呈



2月6日、ラッセホールで、兵庫教育文化研究所(以下、研究所)の第95回運営委員会・第110回研究所員会議をオンライン併用でおこなった。

福山運営委員のあいさつ(左記参照)の後、25年度の研究所における活動の経過、運営および活動の総括や当面のとりくみなどを協議し、承認された。最後に、今年度末をもって任期満了により退任される、研究所員の岩本剛さん(社会科教育部会)、福井克宏さん(食・環境教育部会)、長谷川剛さん(教育課程部会)、柴原由果さん(教育課程部会)へ感謝状の贈呈がおこなわれた。

森戸所長は、長年にわたり兵庫における教育研究活動の深化・発展にご尽力いただいたことに心からの感謝を述べた。

お正月ファミリーパズル 当選者発表

お正月ファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございます。

正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、「教育シンボジウムの内容を、じっくり読んだ」、「子どもの幸せを願う」、「3学期も頑張っていた」、「給与改定の内容等、わかりやすく書いてあるのでいつも熟読している」、「中央情勢や県のとくみを知ることができると楽しみに読んでいます」などの感想をいただきました。

今後もよりよい紙面づくりをめざしてまいります。よろしくお願いたします。

(編集部)

当選者の皆さん (敬称略)

- 園田恵子(神戸)
- 大塚緑(西宮)
- 野嶋博美(西宮)
- 山内帆夏(宝塚)
- 岡崎文子(川西)
- 藤田卓生(三田)
- 藤原直人(東播)
- 上田佳世(三木)
- 藤原圭那(加小)
- 後藤夫佐幸(加小)
- 黒田広之(加西)
- 小西彩子(姫路)
- 佐古千代美(神崎)
- 境佳世(赤相)
- 小池奎太(掛龍)
- 石原友香(宍粟)
- 稲田愛子(豊岡)
- 八幡圭司(養父)
- 田中礼子(美方)
- 上内元(南あわじ)

★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

「ピアノ」

淡路市立中田小学校
五年 松田 花音

ピアノをならった
さいしよは「ド」の音もわからない
でもだんだんわかってきた
発表会は失敗することもあった
でも五年ならってきた今は
どの音もわかる
むずかしい曲だつてひける
ひけたときはうれしい
ひけなかつたときはかなしい
けどまだ続けたい
わたしはピアノが大好き

『子どもの詩と絵 第45集』より

あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin>

「補償は見直しが大切です」

ご自宅の補償を見直しませんか？

こんな方は
特に見直しをオススメします！
今、加入している保険(共済)について

- 01 保険料(掛金)が値上がりした
- 02 住宅ローンが完済となり満期がくる
- 03 加入したときのままほったらかしにしている

この機会に「教職員共済」へご相談ください！

お問い合わせもお気軽にどうぞ！
詳しくはこちら！

資料請求・お問い合わせ

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 4-10-8 ラッセホール 4F
TEL:078-221-9730【平日 9:00~17:30】

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。